

令和 8 年定例会 6 月定期議会
教育民生常任委員会調査報告書

令和 8 年 6 月 18 日

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会 活動状況

〔報告期間〕 令和8年2月2日～令和8年6月1日

日時	活動区分	内 容	頁
2. 2 (月) 15:02～15:19	検 討	《委員のみ》 ■ 2月定期議会中における委員会日程について ■ 委員会調査報告書について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員6名	—
2. 12 (木) 9:57～12:02	検 討	《委員のみ》 ■ 常任委員会及び分科会に係る議案審査の進め方について ■ 委員会調査報告書について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員6名	—
2. 24 (火) 13:40～14:03 16:23～17:20	所管事務調査①	《市民生活部》 ■ 第5次登米市男女共同参画基本計画（案）について ■ 元気とめ食育21計画（第5期）（案）について ■ 登米市一般廃棄物処理基本計画（案）について ■ 子ども・子育て支援金制度について 《教育部》 ■ 南方地域小学校施設整備事業について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員6名 市民生活部 幡江部長ほか13名 教育部 新田部長ほか13名	—
2. 26 (木) 10:00～15:40	所管事務調査② （現地調査） 検 討	《教育部》 ■ （現地調査）南方歴史民俗資料館について 《委員のみ》 ■ 令和8年度各種会計に係る予算審査の進め方について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員6名 教育部 新田部長ほか5名	4
3. 12 (木) 13:53～14:03	検 討	《委員のみ》 ■ 陳情書等の取り扱いについて 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員6名	—
3. 17 (火) 13:30～15:34	所管事務調査③ 検 討	《医療局》 ■ 米谷病院の医師確保状況について 《委員のみ》 ■ 年間活動計画について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員6名 医療局 高橋医療局次長ほか3名	—

日時	活動区分	内 容	頁
4.16(木) 9:58～11:59	検 討	《委員のみ》 ■年間活動計画について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員 6 名	—
5.14(木) 10:00～16:20	所管事務調査① 検 討	《市民生活部》 ■キャッシュレスレジ導入事業について ■食生活改善事業について ■浄化槽設置整備支援事業について ■障害者自立支援事業について ■市立幼稚園・保育所再編方針見直しについて ■国民健康保険事業について ■後期高齢者医療保険事業について ■介護保険事業について 《教育部》 ■学校給食費負担軽減事業について ■公共施設複合化整備事業（米山地区）について ■（仮称）東部学校給食センター施設整備事業について ■小中学校等再編整備事業について ■けやき教室運営事業について ■旧登米高等尋常小学校校舎耐震対策事業について 《医療局》 ■登米市立病院の在り方について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員 6 名 市民生活部 幡江部長ほか 12 名 教育部 日野部長ほか 11 名 医療局 渡邊病院事業管理者ほか 11 名	—

教育民生常任委員会 活動概要

【所管事務調査②（現地調査）】

1. 日 時：令和8年2月26日（木） 午後3時00分～午後3時40分

2. 場 所：南方歴史民俗資料館

3. 事 件：南方歴史民俗資料館保管の民俗資料について

4. 参 加 者：委員長 岩淵 正宏、副委員長 遠藤 真理子
委 員 杵渕 政博、浅田 琢哉、佐藤 千賀子、關 孝

（教育委員会）教育部長 新田 公和、教育部次長兼教育総務課長 阿部 信広、
文化財文化振興課長 沼田 芳明、
文化財文化振興課長補佐兼文化財文化振興係長 阿部 礼子、
文化財文化振興課技術主幹兼歴史博物館副館長 小野寺 智哉、
文化財文化振興課 主査 二階堂 悟、
教育総務課長補佐（総合調整） 堀内 貴光

（議会事務局）主査 小野寺 崇

5. 概 要：（別紙のとおり）

6. 所 見：（別紙のとおり）

南方歴史民俗資料館について

1. 基本情報

所在地：登米市南方町八の森 40-1

開館：昭和 48 年 8 月 9 日

※昭和 47 年 12 月 15 日竣工（築 53 年）

展示資料：【1 階】

民俗資料、発掘資料（青島貝塚、長者原貝塚）、人骨（青島貝塚）

【2 階】

民俗資料

2. 施設の現状と今後の方針

現状：東日本大震災により被災し、一部修繕を実施したものの、資料の破損が大きく、補修や資料の整理が未了であることから休館としている。さらに、令和 4 年 3 月発生 of 福島県沖地震でも被災し、外壁と軒天の亀裂、剥離が生じたほか新たに資料が破損した。なお、建物の被災箇所は修繕している。

調査研究を目的とした入館希望者がある場合は、南方公民館職員が同伴しながら観覧に供しており、現在は民俗資料及び埋蔵文化財の保管施設と位置付けている。また、資料台帳の再整備も継続して行っている。

今後：令和 3 年 1 月に策定された、登米市公共施設等総合管理計画の博物館等の個別計画では、第 4 期（令和 13 年度～17 年度）に機能移転を行う計画である。

引き続き資料の適正な管理・整理を行いながら、登米市歴史博物館と連携し効果的な展示ができるよう活用を図っていく。

3. 資料点数

民俗資料：約 700 点

発掘資料：青島貝塚、長者原貝塚



（所 見）

南方歴史民俗資料館に保管されている民俗資料及び発掘資料の状況等を確認するため、現地調査を実施した。

同館には、青島貝塚、長者原貝塚から発掘された縄文時代の土器や人骨等の埋蔵文化財や地域住民から寄贈された農耕具や生活用具など多岐にわたる民具類が保管・展示されており、郷土理解を深めるための非常に有用で貴重な資料であることを確認した。

一方で、これまでの地震等による影響で施設が損傷し、休館状態のため、学習への積極的な有効活用がされておらず、また、人骨がそのまま展示されているため、保存状態に不安を感じた。

今後、機能移転をする予定となっているが、人骨等の埋蔵文化財の適切な保存を行うとともに、さらなる情報発信を図り、市内の博物館等への展示を通して、積極的な文化財の活用を進められたい。